

第65回 建築生産技術研究発表会を開催

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、第65回建築生産技術研究発表会を10月24日(木)に建築会館(東京都港区)にて開催し、328名の社員が参加しました。またその模様は約50地点のサテライト会場(各支店・作業所)および各社員の端末にライブ配信されました。

この発表会は建築工事統轄部が主催し、本社各部署の新しい施策や、各支店の作業所で実施している品質や生産性の向上に向けた取り組みを、全国の作業所に水平展開することを目的として1954年から毎年開催しています。

1. 建築生産技術研究発表会の概要

今回の発表会では、「生産性向上と環境戦略」、「当社が歩んでいく近未来」、「フロントローディングで進める生産性向上」、「高度な施工技術への挑戦」、「多様な技術への取り組み」と題した5セッションで計16件のプレゼンテーションが行われました。また、会場には、技術開発センターによるパネルやサンプル展示、保有技術のデモンストレーションの他、デジタルサイネージによるパネル展示、大型液晶画面での各種動画の放映も行われました。

プレゼンテーションでは、エコ・ファースト企業としてCDP Climate Change A List認定取得、RE100の取り組みをはじめ、社会に向けたコミットメントの社内浸透と、達成に向けた意識統一を図るとともに、至上命題となる生産性向上を推し進める施策や事例が紹介されました。

発表会の冒頭、社長からは、安全性・生産性に関する具体的な目標や現状の数値を示しつつ、「①人口の減少とともに市場が縮小する中でグローバルな展開が必要であり、優れた技術力が世界共通言語として重要な役割を果たす。②戸田ブランドの確立のためには技術力を高めていくことが重要である。③多彩なグループ会社を技術力でつないで相乗効果で発展していくことが重要である。このようなことから、技術力は重要でありその活用のために、本日の展示や発表を全国に展開していただいたい。」との話がありました。

2. 今後の展開

当社ではこのような発表会を通じて、企業として今後目指していく方向性や建築生産技術に対する施策や取り組み事例を全社員が共有し、全社的な技術力の向上を図りながら、これからも様々な課題に対して積極的に取り組んでまいります。



写真1 今井社長による挨拶



写真2 発表会場の様子